

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO. 7 2024年4月22日発行者：JR東海労静岡地方本部 半場弘恭

経営協議会開催

令和6年度事業運営の基本方針・静岡支社重点実施項目に対し、組合側から意見を述べる！

4月18日、地本は支社と経営協議会を開催し、令和6年度事業運営の基本方針・静岡支社重点実施項目について、管理部、運輸営業部、施設部、電気部、各部より説明を受け、これに対して組合側から意見を述べ、議論を行いました。

以下、会社の説明と組合の意見及び主な議論です。

《会社説明》

令和6年度 事業運営の基本方針（静岡支社）

『すべては安全のもとに』

～安全を最優先に、信頼されるサービスの実践～

鉄道の原点である安全を最優先に、安定輸送を確保しつつ、お客様への感謝の気持ちを大切にして、地域に根差した信頼されるサービスを実践していく。

1. 安全・安定輸送の確保

- (1) 安全最優先の行動の実践
- (2) 訓練の充実など実践的な能力の向上
- (3) 激甚化する自然災害、異常時等への対応力の強化
- (4) 車両及び地上設備の維持・改良等の推進
- (5) ホーム及び踏切における安全性向上

2. お客様の視点に立った質の高いサービスの提供

- (1) リアルバリューサービス運動の推進
- (2) 地域と連携した積極的な営業施策の展開及び利用促進による収益確保
- (3) 315系営業投入の着実な実施
- (4) 各線区に応じた適切なサービスの提供
- (5) お客様への情報提供の充実
- (6) 安心かつ快適なご利用環境の整備

3. 効率化・低コスト化の実践と業務改革の推進

- (1) 日々の業務における効率化・低コスト化の実践
- (2) 業務改革の推進
- (3) 中長期的視点に基づく諸施策の検討・推進

4. 鉄道のプロとしての意識の醸成と一体感のある職場づくり

- (1) 「5つの約束」の実践による規律ある業務執行
- (2) 技術力向上プログラム・OneSTEP活動などあらゆる機会を通じた社員の能力向上の推進
- (3) 運動習慣・喫煙率の改善等による社員の健康増進
- (4) 安定的、協調的かつ建設的な労使関係の充実

《組合の意見・質問と主な議論》

組合：315系の導入について、身延線ではイベントにも利用されることがあると思うが、西富士宮以降はトンネルが小さく入れない車両もある。甲府まで乗り入れることができるのかどうか、伺いたい。

会社：検討中である。

組合：今ダイヤ改正で、運行パターンが熱海～浜松、興津～島田になったが理由は何か。

会社：315系が4両であることの今後の運用にあわせたものであり、異常時の対応とか総合的に勘案した。

組合：ホームライナーは土曜日が運休となり車両は回送としているが、回送を営業運転する考えはあるか。

会社：そのような考えはないが、土日はイベント等で活用している。

組合：特急富士川号は、現在高速バスと競合となった状況だが、経年している373系車両に不具合は発生してないか。また、新車導入の予定はないのか。

会社：373系車両に特に不具合は無く、車両更新等、今後のことで決まっていたり発表されているものはない。

組合：乗務員タブレットについて、行路表、注意事項も、収納されていないのか。今後も別に携帯していくのか。

会社：現在のスタイルで継続的にやっていく。通常、異常時とも適切に対応できるようにするためである。

組合：富士運輸区においては、異常時に発生する入出区作業を他区の乗務員にやらせる考えや、訓練は考えがあるのか。

会社：訓練は考えていない。不安があれば申し出てほしい。EDSでも

訓練できるため、可能性が広がれば考えられることではある。

組合：子育て支援等に対応するための乗務員行路は検討されているのか。

会社：作成することはできると考えるが、ニーズがあるかどうかである。

増えてくれば、検討の余地はある。

組合：タクシー移動について、遠鉄タクシーの送配システム変更で遅れる恐れがあると現場で知らされたが、支障は発生したのか。

会社：問題はとくに発生していない。

組合：運転士指導訓練の項目が多すぎるのではないか。はしょってやっている感があり、受ける側からすれば項目を絞って重点的にやってもらったほうが良いと考える。

線路の除草は、特発の誤認の原因ともなるので、重要である。

会社：除草しても一年の内何度も生えてくる。抜本的対策か機械化でカバーできればと考える。除草シートも活用していく。

組合：説明にあったロボットとはどのようなものか。

会社：遠隔操作の芝刈り機のイメージである。

組合：通路の確保のためにも徹底されたい。

組合：社員の能力向上について、全体的に底上げしていくと言われたが、漏れたしまった人は評価に影響するのか。

会社：評価については明確な基準を検討中であるが、そういう人が出ないよう教育をやっていきたい。

組合：社員のモチベーションに影響しないよう、慎重に行うべきである。

組合：315系の運用時期について、現時点での見通しを明らかにされたい。

会社：もうまもなくであるが、GW過ぎから数本ずつとなる見通しである。

組合：315系の運転操縦等に関する新しい機能について、不安がある。理解を深めることのできるよう対応されたい。

会社：職場で管理者なりに疑問を言うのであれば対応していく。

組合：高機能障検を導入していくとのことであるが、これまでの障害物検知装置との違いはなにか。

会社：これまでは、線で検知していたものを面で検知できるようにしたもので、より適確に検知できる。すでに設置した箇所もあり、通行者が多い踏切を優先的に設置していく。

組合：専任社員や高齢の社員の労働条件等について考えていることはあるか。

会社：これまで培ってきた技術やスキルは会社にとっても大切なものである。今後も、しっかりと労務提供してもらえれば発揮していただきたいと考える。

組合：高齢者である。若い人との差があるのでカバーすること。

以上